

2013年4月14日 主日礼拝（聖餐式）

プレイズ
奏 楽
賛 美 聖歌429番（主をほめよわが魂）
（神様感謝します）

使徒信条
聖 書 ルカによる福音書 15章1～7節
音 楽 アサリオン

メッセージ 「『ゆりかごから墓場まで』を越えて」
大川従道牧師

賛 美 「雲が雨で満ちると」(献金)
頌 栄 ハレルヤ！
聖餐式 「十字架の陰に」

「人の子がきたのは、
失われたものを探ね出して救うためである。」
(ルカ十九の十)



畑の中の宝物

先週ビル・ウィルソンの本を読んだ方から“病のいやし”について今までの考えと違うのでこれからどういう信仰を持ったらいいか教えて欲しい”との声があった。

病のいやしに対して、キリスト教会には3つの立場がある。

Aというグループは、超自然的ないやしはない、と考えるグループ。自由主義神学。病に対しては受容的。いやしに対する信仰はないため、いやしは起こらない。

Bというグループは、いやされることはあるがいやされないこともある、と考えるグループ。福音派。信仰を持って祈るがいやされないと受容する。三浦綾子さん、水野源三さんなど。いやしに対する信仰は薄いため、いやしはあまり起らない。

Cというグループは、病はすべていやされる、と考えるグループ。ペンテコステ派・カルスマ派の右派。ビル・ウィルソンやチョウ・ヨンギなど。基本的に、神は私たちが健康になることを願っておられると信じる(Ⅲヨハネ2)。いやしに対して信仰が強く、結果として顕著ないやしが起こる。

大和カルバリーチャペルはどの立場かというと、BとCの両方。特に今年になってCの世界が新たに開かれつつある。主は信じたように働いてくださるのだ。

では、祈ってもいやされない時はどう考えるか？一つは“神様には時がある”。だから今いやされなくてもあきらめる必要はない。祈り続けよう。2段階でイエスが目をいやしたケースも、ナアマンのように7回目です突然いやされることもある。

もう一つは“苦しみそのものに意義がある”。これも無視できない視点である。神は無意味に苦しみを与えられているのではない。この点ではAグループの洞察は深い。聖書には多面性がありかつ矛盾はないのである。

病はすべて悪霊からのものというのは間違っている。聖書は“病の霊”など悪霊によるものを認めるが、そうでないケースも多々でてくる。

私個人は病気や障害を受容しつつも、いやしも信じ祈り続けるのが穏やかで良いのではないかと考えている。「もし信じるなら神の栄光を見る」挑戦しよう！

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:サムエル記上15章～31章 Bコース:ルカ14章～17章

【町田ニュース】

- ・ 昨日は素晴らしい召天記念礼拝となりました。納骨のためのお捧げものと祈りを心から感謝します。
- ・ 今日のお茶会はお交わり。災害時の備えとして「避難カード」、死の備えとして「私の葬儀の備え」を書いておきましょう。
- ・ 祈禱会は水曜7時半と木10時半(Y)。説教は安海晴郎師。
- ・ 木曜日9:45～11:30(時間変更あり)「ほっとママの会」。田口先生が来られます。新年度から新しい方も加わりますようお祈りください。
- ・ 準備祈禱会は金曜9時(Y)。説教は佐々木伝道師。
- ・ 土曜4～6時は「リバイバル祈禱会」。静かな祈りの時間。途中参加可。
- ・ 28日は大塚伝道師が礼拝説教。「春のお琴演奏会」です。
- ・ 今年も通読表を用い、貪るように聖書を読みましょう。
- ・ 祝、通読！O 姉(旧・新約)